

# 将来に夢をもち実現させるには

—If you can dream, you can do it!—

(もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれを実現することができる)

東京都三宅村立三宅中学校

講演資料

2017年6月15日(木)

10:45~12:35

開倫塾

塾長 林 明夫

Q 1 : 自己紹介代わりに、好きなことばを教えてください。

- A : (1)「ブルドッグ魂(食いついたら離すな)」  
(2)「練習で泣いて試合で笑え」  
(3)「一所懸命(一つのところで命を懸けるくらい、熱心に取り組む)」  
(4)「スポーツの3つの宝」  
①練習は不可能を可能にする  
②フェアプレイ (いやしいプレイはしない)  
③よき友  
(5)「教育ある人とは、勉強し続ける人」  
(6)「If you can dream,you can do it!」



Q 2 : 今どのような仕事や活動をしていますか。

- A : (1)開倫塾 塾長  
(2)学校法人有朋学園有朋高等学院 理事長 (福島市)  
(3)社会福祉法人両崖福祉会 特別養護老人ホーム 監事 (足利市)  
(4)宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授  
(5)マニー株式会社顧問、社外取締役 (2004 ~ 2010 年)  
本社 : 宇都宮市、現地法人 : ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン  
(6)開倫ユネスコ協会 会長

Q 3 : 将来に夢をもち実現させるためには、どうしたらよいですか。

- A : (1)三宅村や東京都、日本、アジア、世界のことをよく知ることが第一。よく知ったうえで、自分のしたいことを自分の力で考えることです。中学生なのですから、社会のため、人々のために自分がしたいこと、さらには、よく生きるとは何かを「自分の力で考える」ことです。  
(2)そのために一番おすすめなのが、「新聞」です。自宅や図書館で、新聞を毎日 1 面から舐(な)めるように読み、世の中で何が起きているかを知ること。ただ読むだけではなく、新聞を読む時間と同じ時間をかけて考えることも大事です。新聞を読んで身につく力は、自分で考える力と批判的思考能力です。  
\*興味のある記事は切り取り、「スクラップブック」を作りましょう。  
(3)二つ目におすすめなのが、「本格的な読書」です。教科書で紹介されている本や図書館にある本、先生や保護者の方々が読んでほしいよとすすめてくださる本を、腰を落ち着けてじっくり読んでみましょう。これぞという本は、何回も読むこと。読書により身につく力は、思慮深さ、自分自身を振り返る力です。  
\*関心のある分野で活躍した人の伝記を読むこと。パソコンやスマホが好きな人は、スティ

ーブ・ジョブスの伝記をぜひお読みください。今、自分が使っているパソコンやスマホがどのように設計され、作り上げられたかがよくわかります。

\*大切な文章やことばは、「書き抜き読書ノート」に書き抜き、繰り返し読み直しましょう。

読書は、よく生きるとは何かを考えるのに役に立ちます。

(4)三つ目におすすめなのが、「辞書の活用」です。「ことばは力」です。新聞や本を読んでいて、意味のよくわからないことばに出合ったら、「気持ちが悪い」と思い、辞書でその意味を調べましょう。

\*辞書で調べた内容は「意味調べノート」やカードに書き写し、繰り返し読み直して、ことばの意味を正確に身につけましょう。

**Q 4 : 夢を実現するために、中学生である今、しなければならないことは何ですか。**

A : (1)充実した中学校生活、高校生活を送ることです。

(2)中学校でのすべての教科の勉強と、教科以外の教育活動は、将来すべて役に立ちます。役に立たないことは何一つありません。

(3)高校でのすべての教科の勉強と、教科以外の教育活動も、将来すべて役に立ちます。役に立たないことは何一つありません。

(4)夢をもち実現するために役に立つのが、中学校や高校でのすべての教科の学習であり、教科以外の教育活動です。

**Q 5 : 中学校、高校時代に身につけておくといいことは何ですか。**

A : (1)「学習の方法」、つまり、「勉強の仕方」です。社会に出てからも学ぶことは山ほどあります。「社会に出てからが、勉強の本番」です。ですから、「効果の上がる学習方法」とは何かを、中学校、高校時代に身につけておくことをおすすめします。

(2)仕事をするうえで特に大切なのは、「大切なことをメモすることができる力」です。「メモした内容を、後で見やすいように整理し、よく理解して頭に入れ、役立てる力」も大切です。学校の授業中に大切な内容をノートに取り、授業が終わったらノート整理をする。定期試験の前には、そのノートを用いて試験勉強をすることができるのは大切な能力です。将来仕事をするうえで、とても役に立ちます。

(3)「5 S(ごえす)」も役に立ちます。

- ①「整理」(seiri) 要らないものを捨てる。
- ②「清掃」(seisou) きれいに掃除する。
- ③「整頓」(seiton) ものと同じところに置く。
- ④「清潔」(seiketsu) ①～③を継続する。
- ⑤「躰」(shitsuke) 自分から進んで行く。



(4)別な意味での「躰」も大切です。

- ①「美しい立ち居振る舞い」
- ②「敬語表現を含むことばづかい」

(5)コンピュータと英語は欠かせません。遠慮は要りませんから、自分でどんどん勉強をしつ  
くしてください。

**Q 6 : 最後に一言どうぞ。**

A : (1)三宅村の素晴らしさ、東京都の素晴らしさ、日本の素晴らしさ、アジアの素晴らしさ、世  
界の素晴らしさに注目し、少しずつでも、歴史や文化、言語などの知識を深めてください。

(2)家族のよいところ、友達のよいところ、地域のよいところ、三宅中学校のよいところなど、  
身近なところからよいところを探してみましょう。自分のよいところも、自分の力でしっか  
りと探し、自分の力でどんどん伸ばしていきましょう。

- (3)①「自己責任」  
②「自助努力」  
③「自分の未来は自分で切り開く」  
④「あきらめたらおしまい」

(4)ただし、「健康第一」でお願いします。現代は「健康長寿社会」、人生は長い。

- ①「体の健康」
- ②「心の健康」を大切に。

(5)「一生勉強、一生青春」です。

ご清聴を感謝いたします。

ご質問、ご意見、ご感想を自由にお述べください。

